

豊中市社会福祉協議会

CSWと生活困窮者自立支援



マスコットキャラクター“ビーのん”
よろしくね！！



社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

1,豊中市社協の経緯

昭和58年	法人格取得
昭和62年	賛助会費導入 *福祉のまちづくり講座、給食サービス
平成 4年	校区ボランティア部会設置事業 福祉作業所連絡会…なかまの店
平成 7年	阪神淡路大震災
平成 8年	小地域福祉ネットワーク活動
平成13年	介護相談員派遣事業
平成15年	こころのボランティア講座・ちょボラサロンへ
平成16年	地域福祉計画を市と協働で作成 福祉なんでも相談窓口を各校区に設置 *地域福祉ネットワーク会議、CSW配置
平成18年	運営推進会議へ参画
平成21年	福祉公社と統合 地域福祉権利擁護センター地域福祉活動支援センター 安心生活創造事業
平成23年	パーソナル・サポート事業

2. 校区福祉委員会活動

個別援助活動・・・見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動・・・ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

会食会・子育てサロン

その他・・・災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

福祉なんでも相談窓口

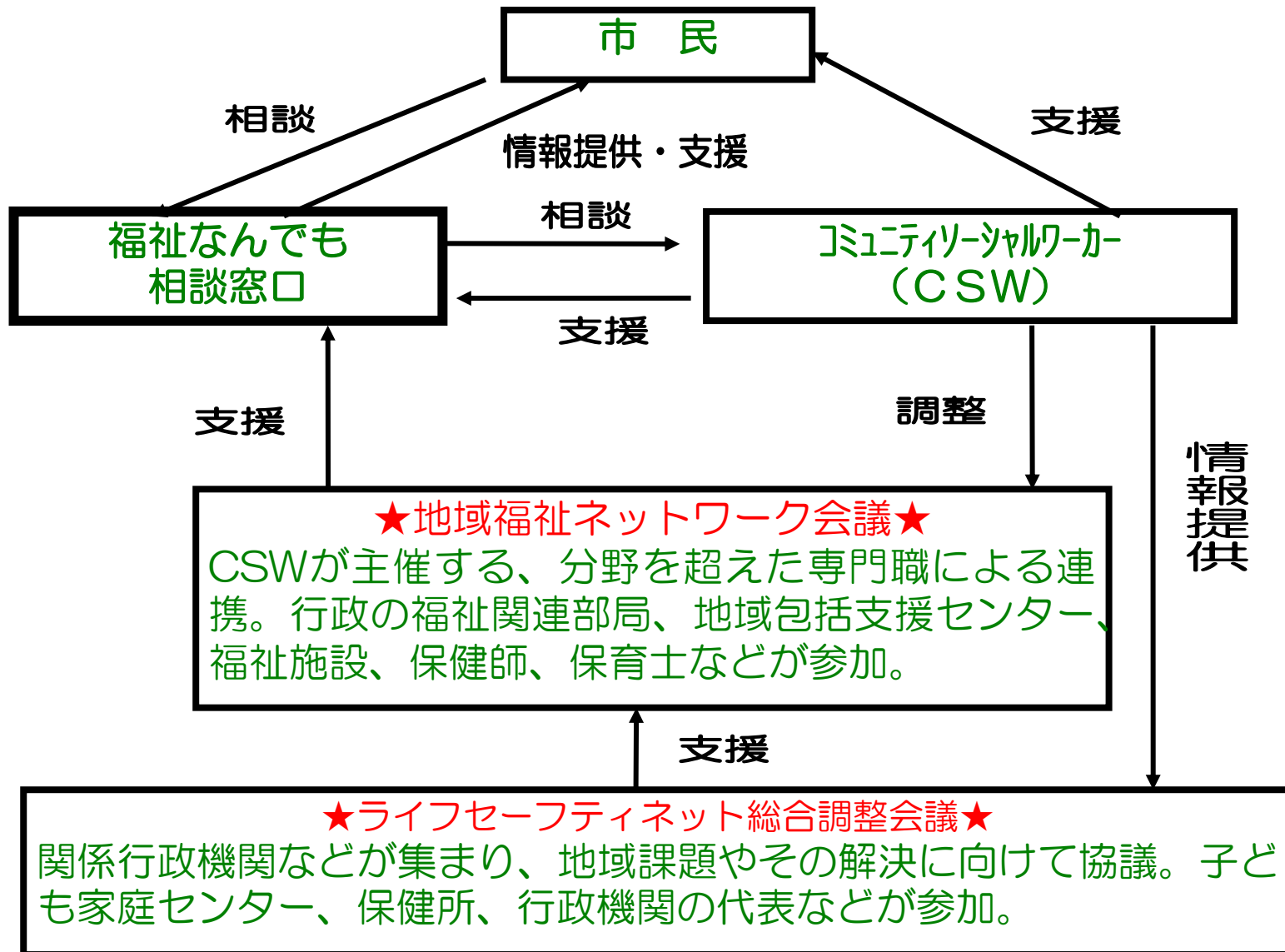


校区福祉委員会活動

- 福祉なんでも相談窓口（小学校区ごとに設置）
- ・ 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
 - ・ 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
 - ・ 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
 - ・ 概ね週1回、2時間開設



豊中ライフセーフティネットの仕組み



コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み

相談者

本人・地域住民・民生委員など
関係機関職員
行政担当課、保育所・施設など
福祉なんでも相談窓口

相談

CSW

調整

問題解決

公民による支援のコーディネート
行政制度でサポート
ボランティアによる支援
校区活動による支援
困難事例についてはケース検討会



大阪府の定めるCSW
養成講座を修了しています



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の役割は？

●福祉なんでも相談窓口のバックアップ

- ・社会的援護を要する人々への対応
- ・複数機関の連携による支援が必要なケース
- ・公民協働でのサポートが必要なケース
- ・地域との関係調整が必要なケース

●地域福祉ネットワーク会議の運営

- 地域福祉計画の支援
- セーフティネットの体制づくり
- 要援護者に対する見守り・相談

3, コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み 個別支援から仕組みづくり

○協働プロジェクト

- ・福祉ゴミ処理プロジェクト
大量ごみの処理についてのルール化を図る
- ・徘徊SOSメールプロジェクト
携帯電話を使っのまちぐるみのネットワーク
- ・各種交流会の開催 同じ立場の介護者をつなぐ
 - ・高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化
 - ・広汎性発達障害者の家族交流会&自主グループ化
 - ・男性家族介護者交流の集い
 - ・若い家族介護者の交流会
- ・8カ国語の地域福祉ガイドの作成



4, 豊中市社協のCSWとPS事業の連携

入口 CSWと連携したPS支援

- 福祉何でも相談窓口からのニーズキャッチ
- 当事者組織からの相談
- 関係機関からの相談
- 大家・管理組合・事業所など
- 本人との信頼関係ができるまでの横断的支援

→本人からSOSを出せない・出さない掘り起こしの相談が行える

→制度の狭間の課題を抱える相談が日常的に入る

参考 福祉何でも相談500件／年

CSW相談 1000件／年

ここからPS案件をアセスメントする



PSの効果

PS支援が有効なケース

- ・自己判断経験が少ないケース
- ・接触困難ケース(何度も足を運ぶ)
- ・サービスがないまたは地域とのかかわりが困難
- ・人との関わりが弱い(何度も人が変わると困難)
- ・課題が大きすぎて横断的な関わりがないと本人が動けないケース
- ・サービス拒否・障害受容困難

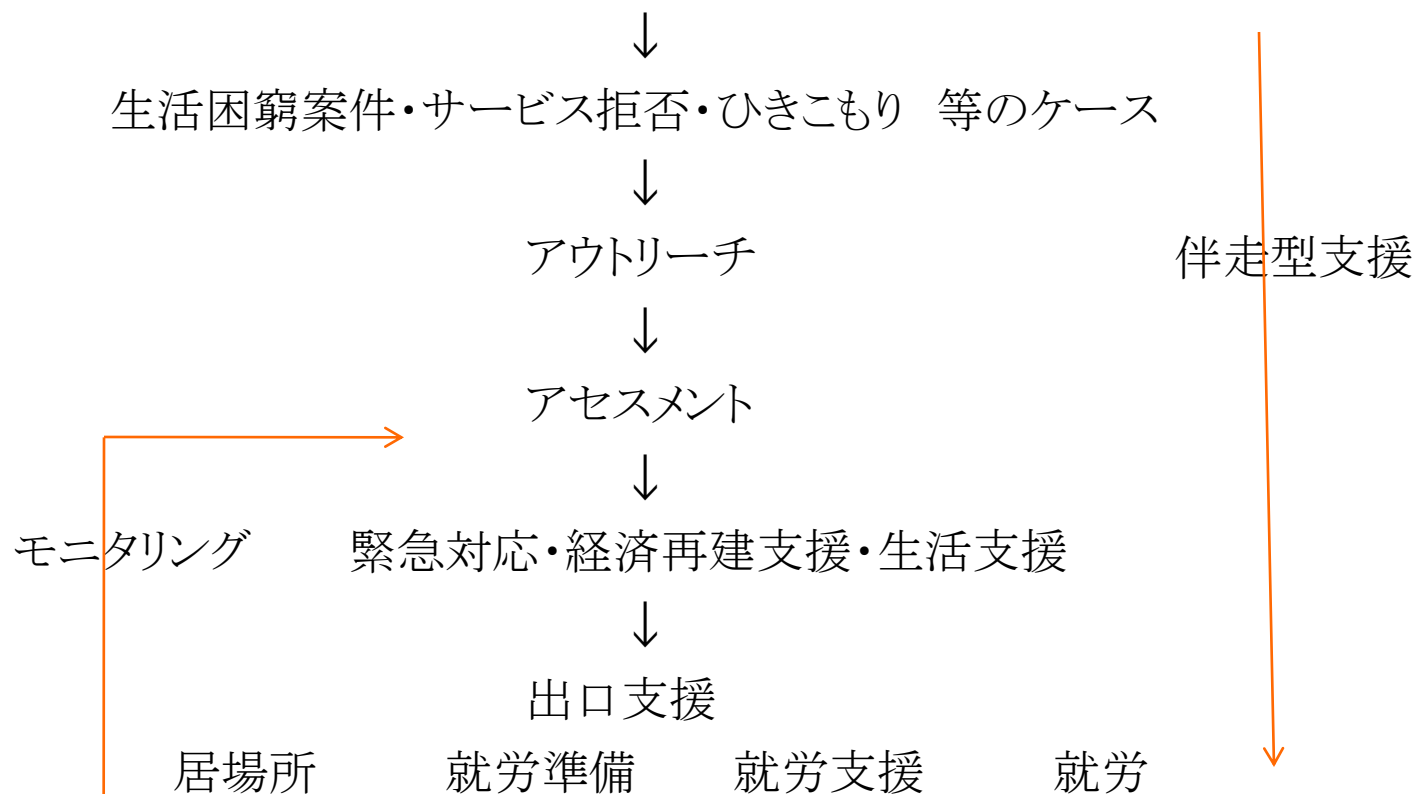


多くの人生の転機と命を支える**106**ケース



豊中の総合相談とアウトリーチ

地域住民・なんでも相談・事業所・大家、管理組合・貸付・学校・民生委員等



- 行政の窓口は公共料金の滞納世帯が把握

5, 豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

- 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談などからの生活困窮者の伴走支援→**CSW**へ
(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)
- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 物品提供(衣類、食糧)
- 老施協 社会貢献費用との連携



豊中の生活困窮者支援②

- **CSW**の相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)
→就労準備的な活動 *本人との目標設定(**PSプラン**)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所…週**4**回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム**2**時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験…新聞配達、団地の草ひき、買物支援等
→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④就労訓練…パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑤就労支援…就労支援センター・ハローワークとの連携

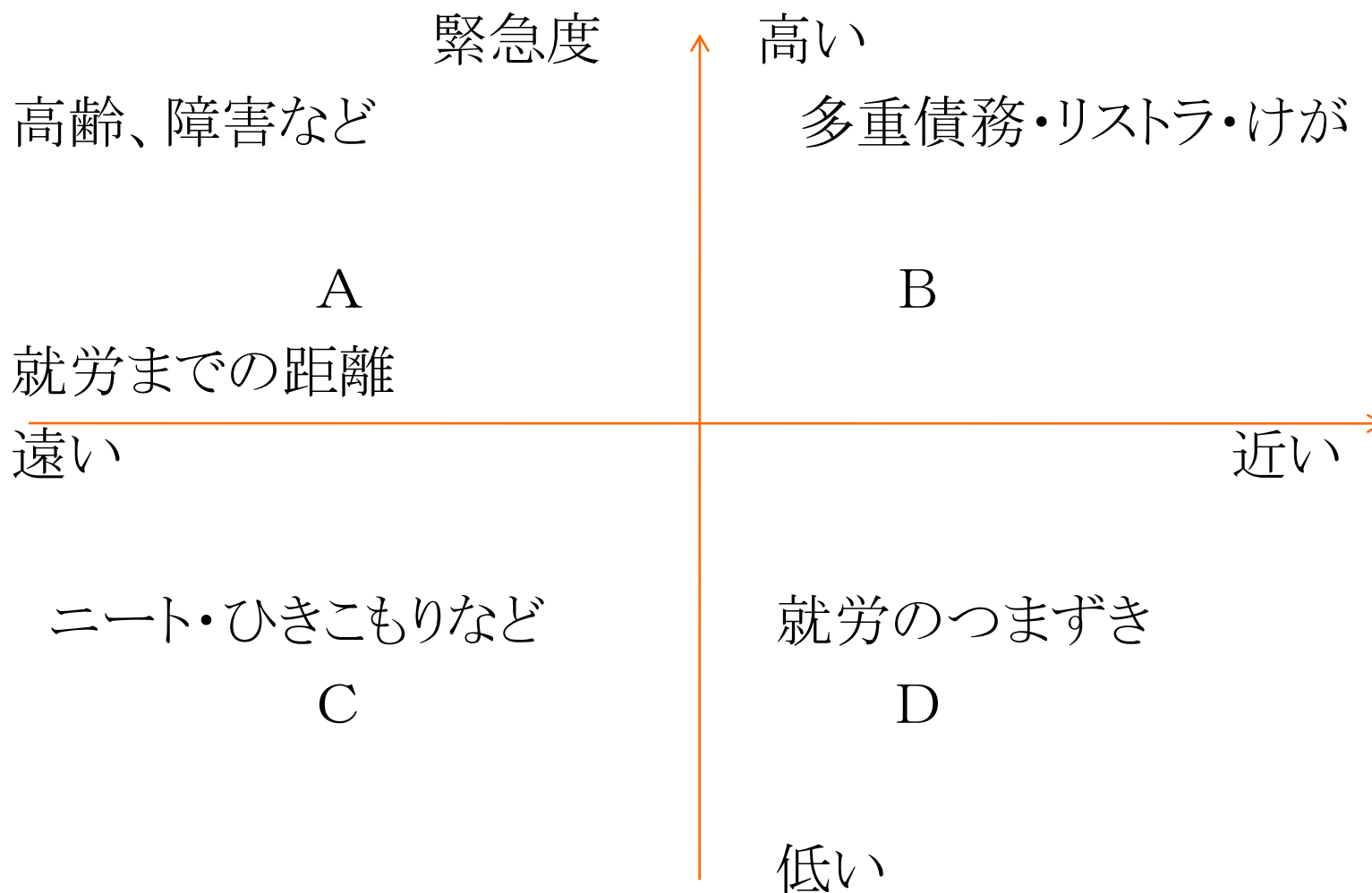


ステップアップ

アウトリーチ	居場所参加	中間的就労	就労体験	就労準備	一般就労
家庭訪問 家族会参加	生活支援	1000円/2H	新聞配達	就職活動 地域就労支 援センター	OB会



③生活困窮者の対象



事例1 ホームレス

地域の方からの連絡



公園への巡回相談＊雨の日・雪の日



サービス拒否・支援拒否



本人の希望により添い支援約束



生活保護申請(再度ためらう)



家探し

＊民生委員



生活用品選び

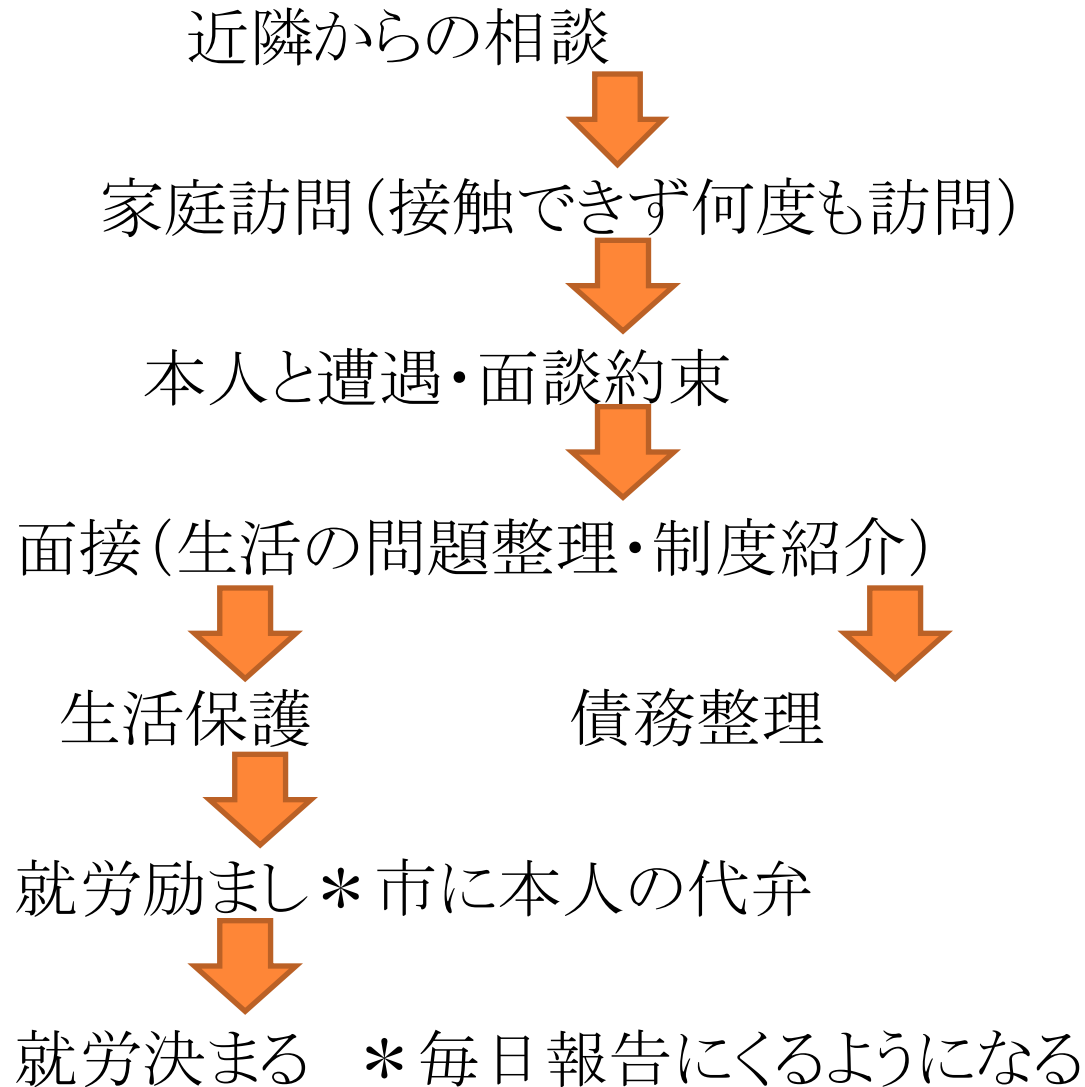


在宅生活スタート

日中活動支援 居場所づくり



事例2 リストラ・生活破綻



事例3 生活困窮

自殺未遂の連絡が保健所から入る



家庭訪問(ライフラインが止まる・多重債務)



家庭訪問(お米と短期貸付)



面接(生活の問題整理・制度紹介)



就労支援



債務整理・家計支援



就労まし

就労決まる * 毎日報告にくるようになる



事例4 被災者支援

震災で豊中へ転居



公営住宅へ入居手続き



巡回相談・物資支援を行う



何もすることがない・農業がしたいと涙ぐむ



家族交流会



農地探し



地域情報提供



冊子づくり



農地提供



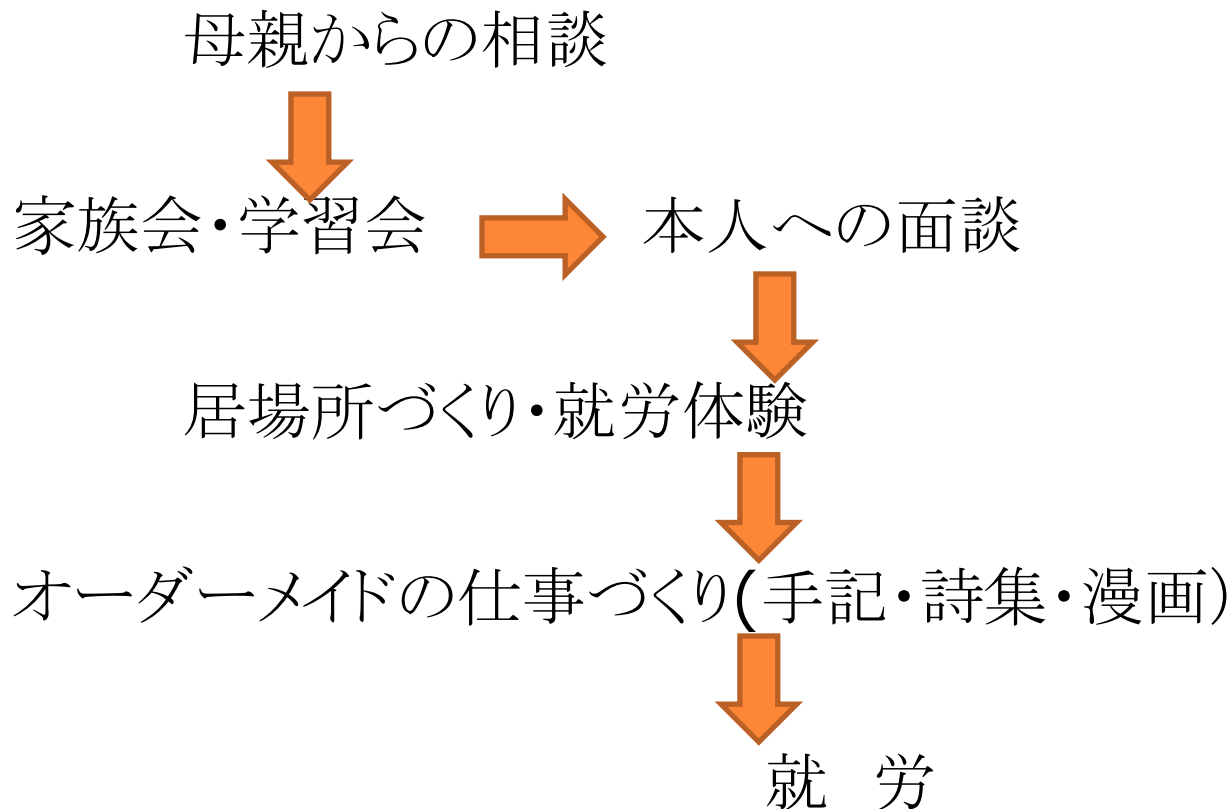
農業指導



就労



事例5 ひきこもり



事例5 50代中途障害者の就労支援

脳卒中で職場を退社



親の介護をしながらリハビリ



両親を失い住宅ローンに悩み酒びたりの日々
近隣から敬遠されるようになる



生活保護と介護保険の申請(サービス拒否)



就労を約束



生活改善



就労準備



ローン設定変更



6, 豊中びーのびーのプロジェクト これまでのあゆみ①

平成20年度

高機能自閉症やアスペルガー症候群などの広汎性発達障害と診断される人が増え、学校との関係や、学校卒業後の就労についての相談が窓口にも寄せられるようになってきました。そこで、関係機関や障害者の親の会のみなさんと相談し、家族交流会を開催することになりました。

- ・ 交流会開催に向けて準備会開催（2回）
参加機関）健康づくり推進課、障害福祉課、保健所、
障害者の親の会、市社協CSW
- ・ 広汎性発達障害者の家族交流会開催（第1回）
（参加者 61名）
- ・ 広汎性発達障害者の家族交流会開催（第2回）
（参加者 63名）



豊中びーのびーのプロジェクト これまでのあゆみ②

- 準備会では、各関係機関でも相談が増えている現状を情報交換し、交流会の必要性を再確認しました。毎回定員を上回る参加者があり、発達段階に応じた支援の必要性を学びました。
- H21年度には、参加者の中から自主化グループ化を求める声も上がり、成年の部では月1回定例で集まるようになりました。
- 平成21年度 交流会開催に向けて準備会開催（1回）
参加機関）健康づくり推進課、障害福祉課、教育センター、保健所、障害者の親の会、市社協CSW
- 広汎性発達障害者の家族交流会開催（第3回）
（参加者 46名）
- 広汎性発達障害者の家族交流会開催（第4回）
（参加者 65名）
- 自主グループ「一歩の会」結成。毎月定例会開催。



豊中びーのびーのプロジェクト これまでのあゆみ③

- 平成22年度は、これまで通り、年2回の交流会、月1回の「一歩の会」の集まりを続けてきました。
- 「一歩の会」では、「親亡きあと、子どもはこのまま暮らしていけるだろうか?」「いつも家に引きこもってしまっているから、昼間の居場所ができれば…」といったことをずっと語り合っていました。

でも、語り合うだけでは、何も進みません。

- 平成23年度に、市から事業の委託を受け、「豊中びーのびーのプロジェクト」と題して、これまでなかなか一歩が踏み出しにくかった人たちを対象に、昼間の居場所づくりや、理解の輪を広げていくために、発達障害者の支援者養成研修に取り組むこととなりました。



豊中びーのびーのプロジェクト

- 対象：発達障害，引きこもりなどで就職に距離がある人
- 活動費：1コマ（10:00～12:00，13:30～15:30）につき500円
- あらかじめ、プログラム予定表を作成し、参加したいプログラムにエントリーしてもらう

★プログラム参加の中でオーダーメイド型の支援を行う



登録者の状況（H26.5.26現在）

- 登録者数： 54名
- 男女比： 男性） 39名 女性） 15名
- 年齢： 10代） 5名 20代） 20名
30代） 15名 40代） 8名
50代） 6名 平均32,8歳
- 面談時聞き取りによると
約半数が障害手帳取得、障害の診断あり



プログラム進捗状況（園芸）

- 稲刈りやたけのこ掘りにもチャレンジ



プログラム進捗状況（手作り）

- 手作りプログラムで作成したエコクラフトのかごの作り方を
出前で講座



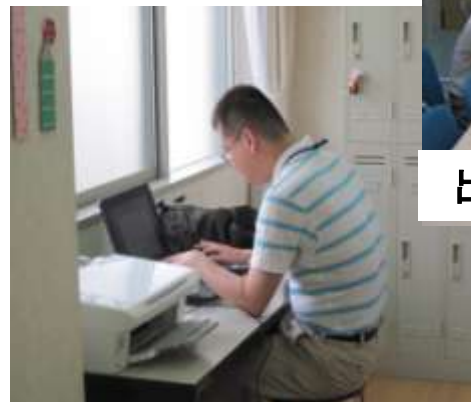
プログラム進捗状況（手作り）

・ 自分史作り

漫画班と協力して、ホームレスの体験を4コマ漫画に。

ビーのニュースでも
好評連載中！
「たつみんの放浪日記」

原稿作りにはげむ作者



出版社との打ち合わせ



「電車ホテル」

○原案：龍原たつみ
○作画：ボリン

プログラム進捗状況（手作り）

- ・福祉マンガの発行
コミュニティ
ソーシャルワーカーの
役割や仕事を紹介する
漫画を作成



プログラム進捗状況（パソコン）

- パソコンプログラム
サポーターの協力により、
メンバーの希望に合わせて実施

- ・タッチタイピング
- ・ワードでチラシづくり
- ・表計算で物産の在庫管理
- ・ホームページ作成

など

曜日	時間	内容	曜日	時間	内容	曜日
月	10:00	パソコン	火	10:00	音楽	水
火	10:00	音楽	水	10:00	音楽	木
水	10:00	音楽	木	10:00	音楽	金

↑パソコンプログラムでビーののりふれット作成



プログラム進捗状況（カフェ）

- カフェプログラム
- 東豊中校区社会福祉委員会主催のカフェ「ゆう♡ゆう」のお手伝い



おそろいの手作りのエプロンをつけて地域福祉活動支援センターにて出張カフェも実施



プログラム進捗状況（就労体験）

- 就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- ・ 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、



お買い上げの商品を家まで運ぶ

- ・ 情報誌、夕刊配達



プログラム進捗状況（就労体験）

○就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

・草引き



・デイサービスでの介護体験



★びーのでの経験を糧に、就職できたメンバーも…
定期的にOB会を開催



今後取り組むこと

- 総合相談は、生活困窮者に限らず地域課題を発見する
チャンネル→体制作りを
- 関係者との協議の場を
- 地域福祉計画の中で生活困窮者支援体系を描く
- 生活困窮を恥ずかしいと思わず生活再建に向かう風土
づくり
27年度からは全国展開。
地域の実情に合った取り組みを



2014年8月22日

第17回都市政策研究交流会

「多様な連携による総合的な生活困窮者支援」

無断転載、複製および転訳載を禁止します。

引用の際は本書（稿）が出典であることを必ず明記してください。

This paper is copyrighted and may not be copied or duplicated in any manner including printed or electronic media, regardless of whether for a fee or gratis without the prior written permission of the authors and Japan Center for Cities. Any quotation from this paper requires indication of the source.

